

# テーマ「居蔵造りと千石船」

ジャンル：歴史的史跡

阿知須は江戸中期から明治初期にかけて廻船業が栄えていました。建物が密集していたため、廻船業で富を得た人々は、火事から家を守るため、瓦葺の屋根、漆喰で塗り固めた大壁、土戸など、防火機能に優れた「居蔵造り」の建物を建てました。

今でもその町並みが残っています。



中川家跡周辺の居蔵造り



中川家跡の居蔵造り



東回り航路や西回り航路で使われた千石船  
阿知須の港は船の寄港地として栄えていました。